

研修報告書

平成 30年 10月 21 日

宮田村議会議長 様

広報広聴会議座長 加藤恭一

1. 日 程 10月9日 日帰り

2. 参加者 加藤恭一 久保田秀男 天野早人 飛岡聡 竹村照美 小野章

3. 経 費

4. 研修成果報告

平成 30 年度町村議会広報研修会が東京のシェーンバッハ・サボーで行われた。

「住民に伝わる議会広報誌をつくるにはどうしたらよいか」を題材とした研修会。

(成果)

①研修の中に読み手に伝わる文章の書き方があったがこれは勉強になった。

(疑問点)

① 今回の全国研修会も長野県で行われた研修会も優秀作品を題材にして行われているが議会広報誌に多額の予算をつぎ込んで作られている。

② 賞を狙いで作られているので作品が類似している。

③ 写真も多数掲載されているが文章欄、文字数も多い。

④ 広報誌というよりもはや雑誌、到底議員が作っているとは思えない。

(結論)

宮田村議会広報広聴会議が目指す広報とは相違があるが書き方などは参考になった。

しかし、このような広報誌を作って本当に住民が政治に興味や参加を示すのか。

全国町村議会議長会の皆さんや私たち議員も深く掘り下げて考えなければならない。